

★6月1日スタート

<http://kachinet.jp>



こたつねこさんのお話と列席のみなさん

葛飾区との平成19年度協働事業

「かつしか地域づくりネット」

順調にサービスを開始しました！

前号でお知らせした「かつしか地域づくりネット」(略称かちねつと)が、6月1日から正式にサービスを開始しました。

同日のオープン記念式には、テストラン期間中に会員登録していただいた方など40名ほどの皆様にご参加いただきました。お忙しい中をほんとうに有難うございました。

式典では来賓を代表して、兵庫県からお越しいただいた和崎宏様(ハンドルネームこたつねこさん)から挨拶をいただきました。こたつねこさんは昨年に兵庫県民広場「ひよこむ」を立ち上げられた方。そのソフトやノウハウを「かちねつと」にご提供いただくとともに、何度も葛飾に足を運んで支援していただきました。

こたつねこさんのお話は、人と人とのつながり、縁というものの不思議さ、葛飾のインドラ(帝釈天)の網、矢切の渡しはよき時代の原風景、人情葛飾は地域SNSの聖地・・・などなど盛り沢山で、会場の皆さんも楽しく聞き入っていました。

そのあとは、お茶を飲みながらのリラックスムードの中、わがユニコムかつしかのスタッフによる「かちねつと」のデモンストレーションタイム、様々なコミュニティなどの紹介が行われました。

こうして順調にスタートした「かちねつと」。

6月下旬の会員数は早くも230名、コミュニティの数も40を越えました。

これからも様々な人と情報をネットをつなぎ、安心・安全なコミュニティを育んでいきたいと考えています。

葛飾の地域交流のネット拠点として、多くの方々のご参加、ご利用をお願いいたします

区との協働事業提案

平成20年度の、区と市民活動団体との協働事業提案が5月に募集され、ユニコムかつしかは下記の提案を行いました。

ユニコム独自の自由発想事業の「暮らしを彩るIT講習会」と、区が課題を提起した「区民が作る葛飾百科」です。

「暮らしを彩るIT講習会」は、IT化の進展による情報格差の解消を目指して一昨年度から始まり、区と葛飾アクティブ・COMの協働事業として、幾つかの市民活動団体が参加して実施されています。

ユニコムかつしかからは講習会指導陣の8割近くを占める会員が参加、市民による市民のための講習として受講生の皆さんから大好評をいただいています。今年度末には予定された3年間の事業を終了します。

しかし、ユニコムかつしかでは、区民へのIT普及のための講習会の来年度への継続はぜひ必要と判断しました。そこで、これまでの事業の単なる継続ではなく、種々のIT普及活動で培ったノウハウを基に、安心、安全な地域づくり、コミュニティの再生、子育て支援や高齢者福祉などにパソコンが十分活用されるべく、さらにIT知識、技術の向上に役立つよう、バラエティーに富んだプログラムを提案しました。

具体的には①インターネットやメールなどの楽しさを味わってもらう、無料パソコン体験教室(月1回)②初心

- 者講習会4、8、12、24回コースなど)③デジタルカメラや年賀状、確定申告など)目的別講習会(時期に応じ数回)
- ④フットローアップ講座⑤障害者向け講座⑥指導者養成講座です。



「葛飾百科」は、葛飾図書館が所管する課題事業で「図書資料以外の地域情報の収集と保存、地域文化の継承」が目的です。図書館としては単年度ではなく、長期事業として考えているようですが、とりあえず初年度(20年10月～21年3月)は区民ボランティアを募集して、図書館で収集済みの資料を編集し、ホームページで公開することを目指しています。

とはいえ、まだ具体的な内容が固まっているわけではなく、区では内容の企画そのものを団体から提案してく

れることを期待しておられるようでした。

そこで、ユニコムとしては、①コーディネーターが専門家とともに資料価値判断の基準を作る②資料を分担して目を通し、価値があると思われるものを選びコピー、分類する③最終的に選別したものをスキャナで取り込みCD化する④インデックスを付け、データベース化する、という作業を提案しました。

この事業の主体は図書館であり、どのようなものにするかは、最終的に図書館が決定するもので、果たしてこれでよかったのか、難しい課題をやるのかといった不安もありますが、この事業が、ボランティア組織の運営とデータベースの作成というIT技術を活用した事業であることから、ユニコムにふさわしいものと考え応募しました。



このあと提案は、7月6日の一次審査会、9月予定の二次審査会を経て可否が決定され、区議会の予算審議を得て実現が可能になります。

もし、2つの提案が通れば、今年スタートした協働事業の「かちねつ」と併せて3つの大きな事業に取り組みこととなります。

IT技術を活用した地域の情報化、ネットワーク化の目標にまた一歩近づくことができると同時に、これまで以上にみなさんの参加と協力が必要になってきます。

ユニコムには、優秀な会員が多数おられます。この提案によって、会員の活動の場がよりいっそう広がることを期待しています。

パソコン使ってますか？



今回は、フォント(書体)の話をしませう。

「等幅」と「プロポーショナル」という文字の幅についてと、使い分け方について取り上げたいと思います。

WordやExcelなどの「書式設定ツールバー」の「フォント」リストボックスの▼をクリックすると、パソコンにインストールされているフォントの一覧が現れてきます。その中に「MS 明朝」と「MS P 明朝」、「MS Gothic」と「MS P Gothic」というように、フォント名に「P」の付くフォントと付かないフォントがあるはずです。この「P」の付かないフォントが等幅フォントで、付くフォントがプロポーショナルフォントです。

例えば、「Excellent movie」といった英語を「P」の付かない「MS 明朝」や「P」の付く「MS P 明朝」で書いてみてください。「MS 明朝」の場合ほとんどの文字もすべて同じ幅で配置されるため、「」(小文字のエル)や「」の前後が妙に空いて見えます。一方の「MS P 明朝」の場合「」や「」の前後が詰めて配置されます。このように、個々の文字の形そのものは同じでも、文字を並べた時に等幅フォントではどの文字も同じ間隔で配置されるのに対して、プロポーショナルフォントでは文字によって異なるという違いがあるのです。

つまり、見た目のバランスが文字毎に最適となるようにデザインされているフォントが「プロポーショナルフォント」なのです。

■パソコンクイズです！

【問題】 デジカメに凝っているお父さん、コンテストに参加するため写真を印刷しようとして、最高級のプリンタ用紙を買ってきました。ところが、印刷したものは発色がおかしい上に、写真全体に縞模様が出てしまっていて、いつも使っている安い用紙で印刷したものの方がきれいなのです。さて、きれいに印刷するには？

【回答】

- A 用紙に合わせてプリンタの設定を変えればよい
- B 用紙に合わせてインクも買い換える

正しい回答を選び詳細を説明してください。

解答は左記アドレスまでメールにてお送りください。正解者の中から抽選で2名様にUSBメモリをプレゼントいたします。(×切り7月31日) アドレス: peg@uc-k.net

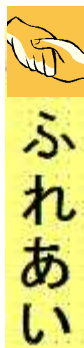
前回のクイズ【問題】 Windows でフォルダを開いて、その中にあるサブフォルダを開こうと思います。このとき、元のフォルダを閉じずに、元のフォルダとサブフォルダを並べて表示するにはどうすればよいでしょうか。

【正解】 2) 【Ctrl】キーを押しながらサブフォルダを開く。

【当選者】 正解者多数の中から抽選により次の2名の方にUSBメモリを差し上げます。

葛飾区西新小岩・宮尾雅則様

葛飾区西亀有・清水頌子様



「初日の暮が上がるまでは不安と緊張で胸が高鳴るのは幾つになっても変わらない」と言うある老俳優のような気持ちで、四月十九日、私の「白鳥福祉館」でのサブ講師の幕が上がりました。講師A氏の受講生への丁寧な講義とリードでいつの間にか緊張と不安も忘れ初日が終わっていました。

次回の担当日は五月十七日。その日は少し気持ちも軽く教室に。今日は見学する方がおられると思いつつ会場の設営をしておりました。講師も見え、見学の方へ「サブの山田です」と挨拶をしますと、「今日は私がサブですよ」と、見学の方と思いきや「今日から返事が返ってきました」。

「え、今日は十七日ではないですか」「いいえ、今日は十日ですよ」あ、一週間日にちを間違えている。

翌日、パソコンを開くと講師のA氏から「本日は有難うございました。メールを拝見するのが遅れ申し訳ありませんでした。くい違いのあった点を早く発見してお知らせするのも講師の役目ですね。本当に申し訳ありません。」という主旨のお気遣いのメール。心の隅に自分の間違いで残っていた澱のようなものがすっと消え、気持ちが軽くなつていくのが分かりました。

自筆での手紙に勝るモノはない。「デジタルよりもアナログ」などと、パソコンなどを否定してしまう人がまだ沢山いるようです。パソコンからの言葉がこんなにスピーディーに、そして何よりも温かく伝わるものだということを、私は改めてA氏から教わりました。

(山田卓夫)

「白鳥福祉館デイサービス パソコン教室」

色鮮やかな紫陽花があちこちに目に映る頃、白鳥福祉館に向かった。

今年で四年目を迎える「デイサービスパソコン教室」。教室の趣旨は、同福祉館のデイサービスを利用する高齢者や障害者の方々に、暮しの中でパソコンを使うための初歩的な知識や活用方法を、楽しみながら身につけていただくこと。

初心者向けの「初級コース」と、経験者対象の「基礎コース」がある。各コース五名。「基本、文字入力、暑中葉書、ホームページ、メール、イラスト、写真の編集等」コース別に学ぶ。どちらも約半年間で全十九回のカリキュラムが組まれている。

白鳥福祉館は平成十年、心身障害者通所施設として開設。障害のある方も地域で充実した社会生活が送れるよう支援し、またふれあいの場としてデイサービスを行っている。

パソコン教室は、十六年から始まり、葛飾アクティブCOMが受託、ユニコムが協力してきた。今年から、実質的に教室を運営してきたユニコムの受託になった。

受講者は、デイサービス利用者の中から応募した人達。みんな熱心で、活発に質問もして下さる。健常者でも厳しい長期の講習、身体と相談しながら受講するのはよほどの教室に期待していることを感じる。社会の進歩に遅れず、追いつき意識込みが感じられる。

中には「実は脳梗塞を…リハビリのつもりで申し込んだ。でもいつまで続けられるか…」と、休憩時間に打ち

明けた人もあった。

講師陣は女性を中心に十五名。一講座二名。教材は基本的に「暮らし彩る」講習会用に作成した教材を中心に、自分たちで資料を手作りする。

講師の多くは、情報弱者と言われる高齢者が気軽にパソコンを使えるように指導する「シニア情報生活アドバイザー」資格取得者。講師陣にとっても、技量アップのための絶好の研修をする場でもあり、また教授する喜びを感じるところでもある。

(岩瀬貞代、市村あさ子)

教室風景



会員募集中！

ユニコムかつしかはパソコンを活用した幅広い地域コミュニティ作りを目指しています。パソコンを教えたい人、習いたい人が共に勉強しています。パソコンの指導者の養成や、個人レッスン、出張サポートも行っています。お気軽にご相談ください。会員になると、個人レッスンやトラブルの診断・解決が一般1時間3000円、会員2000円など、割引料金になります。

IT・パソコンのことならユニコムかつしかへ！

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 講習会 ・たつみ敬老館講習会 ・ウェルピア講習会 ・白鳥福祉館講習会 ・暮らしを彩るIT講習会 ■ ホームページ制作・パンフレット類作成など ■ かつしか地域づくりネット(かちねっと)の構築・運営 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 指導者養成講座 ・シニア情報生活アドバイザー ・シニアPC指導ボランティア ■ 出張サポート・出張レッスン ■ 個人レッスン(於:事務所) |
|--|---|

編集後記

年金記録漏れ問題が国を揺るがせている。社会保障のいい加減な仕事ぶりにはあきれざるばかりだ。「どうせ払ったつもりならええいだらう」という風潮に拍車をかけないかと心配だ。

だが、本当にそう思うなら、この制度が孫子の代まで機能するにはどうすればいいか考えなければならぬ。私払う人、取られる人、もらう人。お上が考えてくれるものという意識が社会保障の怠慢を許した一因でもある。自分たちで、街を、社会を作る、NPOの役割は大きい。

(志)